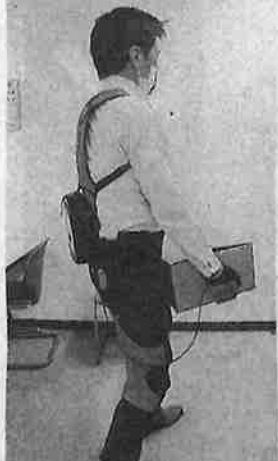


アルファ技研が発売したアシストベスト＝神戸市中央区江戸町



アシストスーツ、県内企業も参入

力仕事の負担、大幅に軽減

モーターやばねを使って力仕事の負担を軽減する「パワーアシストスーツ」の製造販売に、兵庫県内の企業が参入している。高齢者や女性の働き手の増加に伴って需要が伸びると期待されており、機能を絞り込んで低価格と使いやすさを売りにする。

産業機器製造のアルファ技研(神戸市中央区)は、重い荷物を持ち上げるときにモーターで背筋などを補助する「アシストベスト」を開発し、このほど販売を始めた。重さ約2キ。ベストのように1人で着脱でき、補助が必要なときに手元のスイッチで作動する。かさばらないため狭い場所に入れ、装着したまま事務作業なども行えるという。

価格は1台28万5千円(税別)。同社によると、人の動きをセンサーが感知して作動するものが多い競合製品(50万～200万円)に比べ、安価という。

工場や物流倉庫など向けに販売。古澤耕一専務(40)は「今

機能絞り込み価格抑制

後、腕の動きを支える製品などシリーズ化していきたい」と話す。

矢野経済研究所は、パワーアシストスーツの2022年度の市場規模が、リハビリ向けを含め、18年度の5倍の71億8千万円になると予測している。(塩津あかね)